

学校コード F127310108241

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

注2

大阪成蹊大学 国際観光学部 国際観光学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 大阪成蹊学園
令和4年5月1日現在

作成担当者

経営企画本部

職名・氏名

ケイエイキカクカチョウ カワムアヤスフミ
経営企画課長 河村泰文

電話番号

06-6829-2620

(夜間)

06-6829-2620

e-mail

ksh@osaka-seikei.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

国際観光学部

＜国際観光学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	33
7. その他全般的事項	34

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人大阪成蹊学園

(2) 大学名

大阪成蹊大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒533-0007

大阪府大阪市東淀川区相川3丁目10番62号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イイシゲル) 石井 茂 (平成22年4月)		
学長	(ムサシノ マコト) 武蔵野 實 (平成25年4月)		
学部長	(クニエダ ヨシミ) 国枝 よしみ (令和4年4月)		
学科長	(マツダ ミツフミ) 松田 充史 (令和4年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください(作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」を確認してください)。
 ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和4年度までの5年間)ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
国際観光学部 国際観光学科 学士(経営学)	経済学関係	4 年	80 人	2 人	324 人	新規入学者を募集中	基礎となる学部等 経営学部国際観光ビジネス学科

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	80 (-) [3]	- (-) [-]	0.62倍	-	
志願者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	259 (-) [1]	- (-) [-]			
受験者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	180 (-) [1]	- (-) [-]			
合格者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	113 (-) [1]	- (-) [-]			
B 入学者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	50 (-) [0]	- (-) [-]			
入学定員超過率 B/A	-		-		-		-		0.62				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	50 [-] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次			/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
4年次	/						/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
計			- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)			- [-] (-)	- [-] (-)	50 [-] (-)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
令和元年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	50 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{50} = \boxed{0} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<国際観光学部 国際観光学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
初年次科目	成蹊基礎演習1	1前	2			2	1	1					
	成蹊基礎演習2	1後		2		2	1	1					
	スタディスキルズ1	1前		2		2	1					1	
	スタディスキルズ2	1後		2		2	1					1	
	情報リテラシー1	1前	2									1	
	情報リテラシー2	1後		2								1	
	情報リテラシー3	1後		2								1	
	外国語科目	英語基礎 I	1・2前		1		1		1				
		英語基礎 II	1・2後		1		1		1				
英語演習 I		1・2前		1					2				
英語演習 II		1・2後		1					2				
英語演習 III		2前		1						1		1	
英語演習 IV		2後		1						1		1	
英語表現 I		1・2前		1		1						1	
英語表現 II		1・2後		1		1						1	
英語表現 III		2・3前		1								1	
総合英語A		1前		1				1					
総合英語B		1後		1				1					
総合英語C		3・4後		1								1	
中国語入門 I		1・2・3前後		1								1	
中国語入門 II		1・2・3前		1								1	
フランス語入門 I		1・2・3前後		1		1						2	
フランス語入門 II		1・2・3前		1		1							
留学生科目	韓国語入門 I	1・2・3前後		1			1					1	
	韓国語入門 II	1・2・3前		1								1	
	海外短期語学研修	1・2・3後		2								1	
	日本語演習1	1前		1								1	
	日本語演習2	1後		1								1	
教養科目	日本語演習3	2前		1								1	
	日本語演習4	2後		1								1	
	総合日本語	3・4前		1								1	
	人間と文学	1・2・3・4前後		2								2	
	人間と宗教	1・2・3・4前後		2								1	
	人間と哲学	1・2・3・4前後		2								1	
	人間と芸術	1・2・3・4後		2								1	
	教育学入門	1・2・3・4後		2								1	
	現代倫理	1・2・3・4前後		2								1	
	心理学概論	1・2・3・4前後		2								3	
	考古学	1・2・3・4前後		2								1	
日本史概説	1・2・3・4後		2								1		
外国史概説	1・2・3・4前後		2		1								
AI入門	1・2・3・4後		2								1		

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
初年次科目	成蹊基礎演習1	1前	2			2	2						
	成蹊基礎演習2	1後		2		2	2						
	スタディスキルズ1	1前		2		2	1	2					
	スタディスキルズ2	1後		2		2	1	2					
	外国語科目	英語基礎 I	1・2前		1						1		
		英語基礎 II	1・2後		1						1		
		英語演習 I	1・2前		1							2	
		英語演習 II	1・2後		1							2	
		英語演習 III	2前		1							1	1
英語演習 IV		2後		1							1	1	
英語表現 I		1・2前		1				1				1	
英語表現 II		1・2後		1				1				1	
英語表現 III		2・3前		1								1	
総合英語A		1前		1					1				
総合英語B		1後		1					1				
総合英語C		3・4後		1								1	
中国語入門 I		1・2・3前後		1								2	
中国語入門 II		1・2・3前		1								1	
フランス語入門 I		1・2・3前後		1		1						2	
フランス語入門 II		1・2・3前		1		1							
留学生科目	韓国語入門 I	1・2・3前後		1					1			2	
	韓国語入門 II	1・2・3前		1								1	
	海外短期語学研修	1・2・3後		2								1	
	日本語演習1	1前		1								1	
	日本語演習2	1後		1								1	
教養科目	日本語演習3	2前		1								1	
	日本語演習4	2後		1								1	
	総合日本語	3・4前		1								1	
	人間と文学	1・2・3・4前後		2								1	
	人間と宗教	1・2・3・4前後		2								1	
	人間と哲学	1・2・3・4後		2								2	
	人間と芸術	1・2・3・4後		2								1	
	教育学入門	1・2・3・4後		2								1	
	現代倫理	1・2・3・4前		2								1	
	心理学概論	1・2・3・4前後		2								3	
	考古学	1・2・3・4前後		2								1	
日本史概説	1・2・3・4後		2								1		
外国史概説	1・2・3・4前後		2				1						

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
大学共通科目	国際社会と日本	日本国憲法	1・2・3・4前後	2							2		
		国際関係論	1・2・3・4前	2		1							
		人権と社会	1・2・3・4前後	2							1		
		社会学概論	1・2・3・4前後	2							1		
		多文化共生社会	1・2・3・4前後	2							1		
		現代と社会福祉	1・2・3・4前後	2							1		
		ジェンダー論	1・2・3・4前後	2							1		
		現代社会と政治	1・2・3・4前	2							1		
		現代社会と経済	1・2・3・4前後	2			1				1		
		現代社会と法	1・2・3・4前	2							1		
	科学と環境	生命と科学	1・2・3・4前後	2							1		
		地球環境問題	1・2・3・4前後	2							1		
		暮らしの科学	1・2・3・4後	2							1		
		現代と科学	1・2・3・4後	2							1		
	地域と文化	大阪の風土と文化	1・2・3・4前後	2							1		
		京都の文化と芸術	1・2・3・4後	2							1		
	健康とスポーツ	スポーツ演習Ⅰ	1・2・3・4前	1							4		
		スポーツ演習Ⅱ	1・2・3・4後	1							3		
		健康科学	1・2・3・4前後	2							2		
	キャリア科目	学外連携PBL	2前	2			3						
		地域連携PBL	2後	2		2					1		
		キャリア	キャリアプランニング	3前	2		1	2					
		仕事とキャリア	3後	2		1	2						
		仕事とキャリア演習	4前	2		1	2						
		ビジネス・インターンシップ1	2前	2		2	2						
	ビジネス・インターンシップ2	3前	2		2	2							
	小計(68科目)			-	4	107	0	6	4	2	2	0	47
	専門科目	学部専門科目	経営学入門	1・2前	2				1				
会計学入門			1・2前	2							1		
ビジネス会計			1・2前	2							1		
マーケティング入門			1・2後	2							1		
経営統計入門			1・2後	2							1		
特別リレー講義			1・2後	2		1							
人文地理			1・2前	2							1		
短期海外研修			1前	2			1						
国際観光概論			1・2後	2			1						
旅行ビジネス論			1・2前	2		1							
観光政策論			1・2後	2							1		
観光資源論			1・2前	2							1		
国際経営総論			1・2後	2			1						
国際機関論	1・2前	2							1				

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学共通科目	国際社会と日本	日本国憲法	1・2・3・4前後	2							2	
		国際関係論	1・2・3・4前	2		1						
		人権と社会	1・2・3・4前後	2							1	
		社会学概論	1・2・3・4前後	2							2	
		多文化共生社会	1・2・3・4前後	2							1	
		現代と社会福祉	1・2・3・4前後	2							2	
		ジェンダー論	1・2・3・4前後	2							1	
		現代社会と政治	1・2・3・4前	2							2	
		現代社会と経済	1・2・3・4前後	2			1				1	
		現代社会と法	1・2・3・4前後	2							1	
	科学と環境	生命と科学	1・2・3・4前後	2							1	
		地球環境問題	1・2・3・4前後	2							1	
		暮らしの科学	1・2・3・4前後	2							1	
		現代と科学	1・2・3・4後	2							1	
	地域と文化	大阪の風土と文化	1・2・3・4前後	2							1	
		京都の文化と芸術	1・2・3・4後	2							1	
	健康とスポーツ	スポーツ演習Ⅰ	1・2・3・4前	1							4	
		スポーツ演習Ⅱ	1・2・3・4後	1							3	
		健康科学	1・2・3・4前後	2							2	
	キャリア科目	AI・データリテラシー	情報リテラシー1	1前	2						1	
		情報リテラシー2	1後	2							1	
		情報リテラシー3	1前	2							2	
		データサイエンス基礎	1・2・3・4後	2							3	
		統計学基礎	1・2・3・4後	2							2	
		AI入門	1・2・3・4後	2							1	
	学外連携PBL	2前	2			3						
	地域連携PBL	2後	2		2	1						
	キャリア	キャリアプランニング	3前	2		1	2					
仕事とキャリア		3後	2		1	2						
仕事とキャリア演習		4前	2		1	2						
ビジネス・インターンシップ1		2前	2		2	2						
ビジネス・インターンシップ2		3前	2		2	2						
小計(70科目)			-	4	111	0	6	5	1	2	0	58
専門科目	学部専門科目	経営学入門	1・2前	2					1			
		会計学入門	1・2後	2							1	
		ビジネス会計	1・2前	2							1	
		マーケティング入門	1・2後	2							1	
		経営統計入門	1・2後	2							1	
		特別リレー講義	1・2後	2		1						
		人文地理	1・2前	2							1	
		短期海外研修	1前	2			1					
		国際観光概論	1・2後	2			1					
		旅行ビジネス論	1・2前	2		1						
		観光政策論	1・2後	2						1	4	
		観光資源論	1・2前	2						1	4	
		国際経営総論	1・2後	2			1					
国際機関論	1・2前	2							1			

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	学部専門科目	ミクロ経済学	2・3前	2		1						
		商法	2・3後	2								1
		欧米地域研究	2・3前	2		1						1
		オーストラリア地域研究	2・3後	2		1						
		経営特論Ⅰ	2・3前	2		1						
		経営特論Ⅱ	2・3後	2		1						
		ホスピタリティと異文化理解	2・3前	2		2	1					
		観光マーケティング論	2・3後	2		2	1					
		レベニューマネジメント	2・3後	2		2	1					
		サービス&テクノロジー	2・3後	2		2						1
		国際観光研究特別科目	2・3前	2		2	1					
		航空・運輸事業論	2・3後	2		2	1					
		MICE & イベント企画論	2・3後	2		2	1					
		ホテル・ブライダル経営論	2・3前	2		2	1					
		旅行業務取扱管理者演習	2・3前	2		2	1					
		地域観光マネジメント	2・3後	2		2	1					
		公園・景観論	2・3後	2		2						1
		観光まちづくり論	2・3前	2		2						1
		ツーリズム研究1	2・3後	2		2	1	1				
		フィールドリサーチ	2・3前	2		2						1
		国際経営戦略論	2・3前	2		2	1					
	ビジネスモデルマネジメント	2・3前	2		2			1				
	国際貿易論	2・3後	2		2						1	
	開発経済学	2・3前	2		2	1						
	財務諸表論	2・3後	2		2						1	
	Research & Presentation 1	2・3前	2		2			1				
	Research & Presentation 2	2・3後	2		2			1				
	専門インターンシップ	2・3前後	2		2	2	2					
	専門展開科目	イノベーション&商品開発	3・4前	2				1				
		行政学概論	3・4後	2								1
		比較文化論	3・4後	2		1						
		アジア市場と日本	3・4前	2		1						
		消費者行動論	3・4前	2		1	1					
		Global Marketing	3・4後	2		1						
		ブランド・マネジメント	3・4前	2		2	1					
		ビジネスデータ分析	3・4後	2		2						1
		世界遺産論特殊講義	3・4前	2		2	1					1
		文化財論	3・4後	2		2						1
		NPO・NGO論	3・4後	2		2						1
		ツーリズム研究2	3・4前	2		2	1					
		競争戦略論	3・4後	2		2			1			
		職業指導	3・4前	2		2						1
	コミュニケーション科目	Academic English 1	2前	2		1	1					
		Academic English 2	2後	2		1	1					
		Conversation Skills A	2・3前	1					1			
Conversation Skills B		2・3後	1						1			
English for Business 1		2・3前	1		1							
English for Business 2		2・3後	1		1							
Conversation Skills C		3・4前	1					1				
Advanced English 1		3・4前	1		1							
Advanced English 2	3・4後	1		1								
専門演習科目	専門演習1	2前	2		1	2	1					
	専門演習2	2後	2		1	2	1					
	専門演習3	3前	2		3	2	1					
	専門演習4	3後	2		3	2	1					
	専門演習5	4前	2		3	2	1					
	専門演習6	4後	4		3	2	1					
小計(71科目)	-	22	115	0	6	4	2	2	0	11		
合計(139科目)	-	26	222	0	6	4	2	2	0	57		
卒業要件及び履修方法												
大学共通科目のうち、初年次科目から必修4単位を含む8単位以上、外国語科目、教養科目から20単位以上、キャリア科目から6単位以上を含む、計36単位以上を修得するとともに、専門科目から、必修22単位を含む78単位以上を修得した上で、その他に大学共通科目もしくは専門科目から10単位以上を修得し、合計124単位以上を修得することを卒業要件とする。 (履修科目の登録の上限:22単位(1学期))												

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	学部専門科目	ミクロ経済学	2・3前	2		1						
		商法	2・3後	2							1	
		欧米地域研究	2・3前	2		1					1	
		オーストラリア地域研究	2・3後	2		1						
		経営特論Ⅰ	2・3前	2		1						
		経営特論Ⅱ	2・3後	2		1						
		ホスピタリティと異文化理解	2・3前	2		2	1					
		観光マーケティング論	2・3後	2		2	1					
		レベニューマネジメント	2・3後	2		2	1					
		サービス&テクノロジー	2・3後	2		2						1
		国際観光研究特別科目	2・3前	2		2	1					
		航空・運輸事業論	2・3後	2		2	1					
		MICE & イベント企画論	2・3後	2		2	1					
		ホテル・ブライダル経営論	2・3前	2		2	1					
		旅行業務取扱管理者演習	2・3前	2		2	1					
		地域観光マネジメント	2・3後	2		2	1					
		公園・景観論	2・3後	2		2				1		
		観光まちづくり論	2・3前	2		2				1		
		ツーリズム研究1	2・3後	2		2	1	1				
		フィールドリサーチ	2・3前	2		2				1		
		国際経営戦略論	2・3前	2		2	1					
	ビジネスモデルマネジメント	2・3前	2		2			1				
	国際貿易論	2・3後	2		2						1	
	開発経済学	2・3前	2		2	1						
	財務諸表論	2・3後	2		2						1	
	Research & Presentation 1	2・3前	2		2			1				
	Research & Presentation 2	2・3後	2		2			1				
	専門インターンシップ	2・3前後	2		2	2	2					
	専門展開科目	イノベーション&商品開発	3・4前	2				1				
		行政学概論	3・4後	2								1
		比較文化論	3・4後	2		1						
		アジア市場と日本	3・4前	2		1						
		消費者行動論	3・4前	2		1	1					
		Global Marketing	3・4後	2		1						
		ブランド・マネジメント	3・4前	2		2	1					
		ビジネスデータ分析	3・4後	2		2						1
		世界遺産論特殊講義	3・4前	2		2	1					1
		文化財論	3・4後	2		2				1		
		NPO・NGO論	3・4後	2		2						1
		ツーリズム研究2	3・4前	2		2	1					
		競争戦略論	3・4後	2		2			1			
		職業指導	3・4前	2		2						1
	コミュニケーション科目	Academic English 1	2前	2		1	1					
		Academic English 2	2後	2		1	1					
		Conversation Skills A	2・3前	1						1		
Conversation Skills B		2・3後	1							1		
English for Business 1		2・3前	1		1							
English for Business 2		2・3後	1		1							
Conversation Skills C		3・4前	1						1			
Advanced English 1		3・4前	1		1							
Advanced English 2	3・4後	1		1								
専門演習科目	専門演習1	2前	2		1	2	1					
	専門演習2	2後	2		1	2	1					
	専門演習3	3前	2		3	2	1					
	専門演習4	3後	2		3	2	1					
	専門演習5	4前	2		3	2	1					
	専門演習6	4後	4		3	2	1					
小計(71科目)	-	22	115	0	6	5	2	2	0	11		
合計(141科目)	-	22	226	0	6	5	2	2	0	69		
卒業要件及び履修方法												
大学共通科目のうち、初年次科目から必修2単位を含む6単位以上、外国語科目、教養科目から 必修2単位を含む22 単位以上、キャリア科目から6単位以上を含む、計36単位以上を修得するとともに、専門科目から、必修22単位を含む78単位以上を修得した上で、その他に大学共通科目もしくは専門科目から10単位以上を修得し、合計124単位以上を修得することを卒業要件とする。 (履修科目の登録の上限:22単位(1学期))												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「【臨地実務実習】による授業科目には「【臨】」、「【連携実務実習】による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

<p>・教育内容充実のため、大学共通科目の初年次科目『情報リテラシー』を教養科目へ区分移動し、『A I・データリテラシー』に名称変更。『情報リテラシー』に担当していた3科目および教養科目の『人間と智』の「A I入門」を『A I・データリテラシー』へ移動。</p> <p>・教育内容充実のため、教養科目『A I・データリテラシー』に「データサイエンス基礎」を追加。配当年次「1・2・3・4年後期」とし、単位数を「2」、兼任・兼任教員「3」を配置。</p> <p>・教育内容充実のため、教養科目『A I・データリテラシー』に「統計学基礎」を追加。配当年次「1・2・3・4年後期」とし、単位数を「2」、兼任・兼任教員「2」を配置。</p> <p>・授業運営上の理由により、「成蹊基礎演習1」の専任教員等の配置を「教授2、准教授1、講師1」から「教授2、准教授2、講師0」に変更。</p> <p>・授業運営上の理由により、「成蹊基礎演習2」の専任教員等の配置を「教授2、准教授1、講師1」から「教授2、准教授2、講師0」に変更。</p> <p>・授業運営上の理由により、「スタディスキルズ1」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「0」に変更、専任教員等の配置を「教授2、准教授1」から「教授1、准教授2」に変更。</p> <p>・授業運営上の理由により、「スタディスキルズ2」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「0」に変更、専任教員等の配置を「教授2、准教授1」から「教授1、准教授2」に変更。</p> <p>・授業運営上の理由により、「英語基礎I」の専任教員等の配置を「教授1、講師1」から「教授0、講師1」に変更。</p> <p>・授業運営上の理由により、「英語基礎II」の専任教員等の配置を「教授1、講師1」から「教授0、講師1」に変更。</p> <p>・授業運営上の理由により、「総合英語A」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1」に変更。</p> <p>・授業運営上の理由により、「総合英語B」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1」に変更。</p> <p>・授業運営上の理由により、「中国語入門I」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。</p> <p>・授業運営上の理由により、「韓国語入門I」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。</p> <p>・授業運営上の理由により、「人間と文学」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。</p> <p>・授業運営上の理由により、「人間と哲学」の配当年次を「1・2・3・4前後」から「1・2・3・4後」に変更。兼任・兼任教員の配置を1名から2名に変更。</p> <p>・授業運営上の理由により、「現代倫理」の配当年次を「1・2・3・4前後」から「1・2・3・4前」に変更。</p> <p>・授業運営上の理由により、「社会学概論」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。</p> <p>・授業運営上の理由により、「現代の社会福祉」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。</p> <p>・授業運営上の理由により、「現代社会と政治」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。</p> <p>・授業運営上の理由により、「現代社会と法」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前後」に変更。</p> <p>・授業運営上の理由により、「暮らしの科学」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前後」に変更。</p> <p>・授業運営上の理由により、「情報リテラシー3」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。</p> <p>・授業運営上の理由により、「地域連携PBL」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「0」に変更、専任教員等の配置を「教授2」から「教授2、准教授1」に変更。</p> <p>・授業運営上の理由により、「会計学入門」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。</p> <p>・授業運営上の理由により、「経営統計入門」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。</p> <p>・授業運営上の理由により、「短期海外研修」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1、講師1」に変更。</p> <p>・授業運営上の理由により、「観光政策論」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「0」に変更、専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。</p> <p>・授業運営上の理由により、「観光資源論」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「0」に変更、専任教員等の配置に「准教授0」から「准教授1」に変更。</p> <p>・授業運営上の理由により、「公園・景観論」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「0」に変更、専任教員等の配置に「准教授0」から「准教授1」に変更。</p> <p>・授業運営上の理由により、「観光まちづくり論」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「0」に変更、専任教員等の配置に「准教授0」から「准教授1」に変更。</p> <p>・授業運営上の理由により、「フィールドリサーチ」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「0」に変更、専任教員等の配置に「准教授0」から「准教授1」に変更。</p> <p>・授業運営上の理由により、「文化財論」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「0」に変更、専任教員等の配置に「准教授0」から「准教授1」に変更。</p> <p>・大学共通科目の変更に伴い、卒業要件及び履修方法について、大学共通科目のうち初年次科目から必修4単位を含む8単位以上、外国語科目、教養科目から20単位以上、キャリア科目から6単位以上を含む、計36単位以上を修得する要件から、初年次科目から必修2単位を含む6単位以上、外国語科目、教養科目から必修2単位を含む22単位以上、キャリア科目から6単位以上を含む、計36単位以上を修得する要件に変更。</p>
--

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
12 科目	127 科目	0 科目	139 科目	12 科目 [0]	129 科目 [2]	0 科目 [0]	141 科目 [2]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{139} = \boxed{}0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容				備考		
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	大阪成蹊短期大学（必要面積10,800㎡）、びわこ成蹊スポーツ大学（必要面積14,400㎡）及び大阪成蹊女子高等学校（運動場等8,600㎡・収容定員2,040人）と共用 校舎敷地 専用の内、借用面積：9,787.51㎡ 借用期間：53年 運動場用地3か所は校舎敷地と別地（徒歩約5分に1箇所、徒歩約20分に1箇所、公共交通機関利用約50分に1箇所） 校地等の変更は、借用による大学専用の校舎敷地増、校地売却による共用の運動場用地の減、校舎建設による他の学校専用の校舎敷地の増、運動場用地の他の学校専用から共用への区分の変更のため（4）		
	校舎敷地	15,719.75 ㎡ 5,932.24 ㎡	28,356.03 ㎡	59,003.81 ㎡ 58,681.36 ㎡	103,079.59 ㎡ 92,969.63 ㎡			
	運動場用地	0 ㎡	16,294.37 ㎡ 81,246.37 ㎡	79,482.00 ㎡ 81,988.00 ㎡	95,776.37 ㎡ 163,234.37 ㎡			
	小計	15,719.75 ㎡ 5,932.24 ㎡	44,650.40 ㎡ 109,602.40 ㎡	138,485.81 ㎡ 140,669.36 ㎡	198,855.96 ㎡ 256,204.00 ㎡			
	その他	0 ㎡	594.52 ㎡	15,611.11 ㎡	16,205.63 ㎡			
	合計	15,719.75 ㎡ 5,932.24 ㎡	45,244.92 ㎡ 110,196.92 ㎡	154,096.92 ㎡ 156,280.47 ㎡	215,061.59 ㎡ 272,409.63 ㎡			
(2) 校舎	専用	12,561.04 ㎡ 12,273.11 ㎡	23,012.87 ㎡ 23,181.55 ㎡	4,840.91 ㎡ 4,960.16 ㎡	40,414.82 ㎡	大阪成蹊短期大学（必要面積11,150㎡）と共用 部屋の用途変更の為（4）		
	(12,561.04 ㎡) (12,273.11 ㎡)	(23,012.87 ㎡) (23,181.55 ㎡)	(4,840.91 ㎡) (4,960.16 ㎡)	(40,414.82 ㎡)				
(3) 教室等	講義室	19室	43室	163室	13室	大学全体（大阪成蹊短期大学と共用を含む） 部屋の用途変更の為（4）		
	演習室				（補助職員 人）			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	国際観光学部 国際観光学科			13室	室数		
	国際観光学部 国際観光学科				13室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	国際観光学部単位での特定が不能なため、大学全体の数（大阪成蹊短期大学との共用を含む） 新規購入による（4）
	国際観光学部	318,690 [41,137] 317,327 [41,487]	13,931 [11,750] 13,577 [11,403]	11,617 [11,617] 11,270 [11,270]	6,682 6,616	3,449	34	
	計	(318,690 [41,137]) (317,327 [41,487])	(13,931 [11,750]) (13,577 [11,403])	(11,617 [11,617]) (11,270 [11,270])	(6,682) (6,616)	(3,449)	(34)	
		318,690 [41,137] 317,327 [41,487]	13,931 [11,750] 13,577 [11,403]	11,617 [11,617] 11,270 [11,270]	6,682 6,616	3,449	34	
(6) 図書館	面積	1,730.14㎡		閲覧座席数	180	収納可能冊数	320,000	大学全体（大阪成蹊短期大学と共用を含む）
	面積	4,706.37㎡		体育館以外のスポーツ施設の概要	該当なし	該当なし		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費には電子ジャーナルの整備費を含む（運用コストを含む）
	教員1人当り研究費等	360千円	360千円	図書購入費	0千円	4,400千円	4,400千円	
	共同研究費等	500千円	500千円	設備購入費	0千円	4,000千円	4,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次 1,410千円	第2年次 1,160千円	第3年次 1,160千円	第4年次 1,160千円	第5年次 千円	第6年次 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、私立大学等経常費補助金収入等をもって充当する。						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	大阪成蹊大学						学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
経営学部	4	260	3年次2人	1044	-	1.12	1.20	令和2 令和4	平成15	-	
経営学科	4	140	3年次1人	562	学士(経営学)	1.22	1.21	令和2 令和4	平成15	大阪府大阪市東淀川区相川3丁目10番62号	入学定員変更(40) 入学定員変更(30)
スポーツマネジメント学科	4	120	3年次1人	482	学士(経営学)	1.09	1.18	令和4	平成28	同上	入学定員変更(10)
国際観光ビジネス学科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	令和4年学生募集停止 令和6年3年次編入学生募集停止
国際観光学部	4	80	3年次2人	324	-	0.62	0.62	-	令和4	-	
国際観光学科	4	80	3年次2人	324	学士(経営学)	0.62	0.62	-	令和4	大阪府大阪市東淀川区相川3丁目10番62号	
教育学部	4	220	3年次5人	890	-	1.07	1.12	令和2 令和4	平成26	-	
教育学科	4	220	3年次5人	890	学士(教育学)	1.07	1.12	令和2 令和4	平成26	大阪府大阪市東淀川区相川3丁目10番62号	入学定員変更(20) 入学定員変更(20)
初等教育専攻	4	150	3年次5人	610	学士(教育学)	1.10	1.20	令和2 令和4	平成26	同上	入学定員変更(20) 入学定員変更(10)
中等教育専攻	4	70	-	280	学士(教育学)	1.01	0.94	令和4	平成30	同上	入学定員変更(10)
芸術学部	4	220	3年次1人	882	-	1.14	1.12	令和元 令和4	平成18	-	
造形芸術学科	4	220	3年次1人	882	学士(芸術)	1.14	1.12	令和元 令和4	平成18	大阪府大阪市東淀川区相川3丁目10番62号	入学定員変更(13) 入学定員変更(30)
大学全体	4	780	10	3140	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	大阪成蹊大学大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
教育学研究科	2	5	-	10	-	0.90	1.20	-	平成30	-	
教育学専攻(修士課程)	2	5	-	10	修士(教育学)	0.90	1.20	-	平成30	大阪府大阪市東淀川区相川3丁目10番62号	
大学院全体	2	5	-	10	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	びわこ成蹊スポーツ大学						学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
スポーツ学部	4	360	-	1440	-	1.09	1.06	-	平成27	-	
スポーツ学科	4	360	-	1440	学士(スポーツ学)	1.09	1.06	-	平成27	滋賀県大津市北比良1204番地	
大学全体	4	360	-	1440	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	びわこ成蹊スポーツ大学大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
スポーツ学研究科	2	10	-	20	-	0.25	0.30	-			
スポーツ学専攻(修士課程)	2	10	-	20	修士(スポーツ学)	0.25	0.30	-	平成24	滋賀県大津市北比良1204番地	
大学院全体	2	10	-	20	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	大阪成蹊短期大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
生活デザイン学科	2	50	-	100	短期大学士(生活デザイン)	0.76	0.70	-	平成28	大阪府大阪市東淀川区相川13丁目10番62号	
調理・製菓学科	2	100	-	200	短期大学士(調理・製菓)	1.05	1.05	-	平成28	同上	
栄養学科	2	80	-	160	短期大学士(栄養)	0.84	0.73	-	平成28	同上	
幼児教育学科	2	280	-	560	短期大学士(幼児教育)	0.72	0.68	-	昭和31	同上	
観光学科	2	90	-	180	短期大学士(観光)	0.65	0.51	-	昭和42	同上	
グローバルコミュニケーション学科	2	30	-	60	短期大学士(グローバルコミュニケーション)	0.81	0.66	-	平成15	同上	
経営会計学科	2	50	-	100	短期大学士(経営会計)	1.02	0.88	-	平成15	同上	
短期大学全体	2	680	-	1360	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

個人情報を含む内容につき、掲載しておりません。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和3年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について着実に実施すること。	遵守事項 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員の退職後の教員編成を見据え、新規教員を1名採用済。	履行済

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<国際観光学部 国際観光学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

大阪成蹊大学ではFD委員会を設け、教員の資質の維持向上に努めている。委員会は、副学長や各学部長等で構成している。なお、その他に本学では、全学的な教学改革を推進することを目的とする教学改革FSD会議(構成員:理事長・総長、学長、副学長、学部長、学科長、コース主任等の専任教員、高等教育研究所研究員及び幹部職員等)を開催しており、アドミッション・ポリシーと入試方法の整合、シラバスの一層の充実、アクティブラーニングの推進、適切な成績評価の実施など19のプロジェクトを立ち上げ、推進していく中で、プロジェクトが中心となって教員の資質を高める研修を開催している。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

令和4年度のFD委員会の開催予定は①-cに記載の通りである。

c 委員会の審議事項等

令和5年度FD研修会開催計画の策定について(令和5年3月開催予定)

なお、令和4年度のFD研修会開催計画については、令和4年3月に委員会にて審議し策定済。

② 実施状況

a 実施内容

以下の研修を実施し、教員の資質の維持向上を図る予定である。なお、下記のFD研修は全教員を出席対象としており、研修後の報告書の提出をもって出席確認を行う予定としている。

(学部FD研修)

- ・「パーソナル・ブランド・マネジメントプロジェクトのこれまでの成果と今年度の指導方針について」
令和4年4月
- ・「インターンシップにおける指導方針と留意点」
「専門演習・卒業研究等指導におけるガイドラインに基づいた指導計画の周知と留意点」
令和4年7月
- ・「PROGテストの分析結果を踏まえた成果・課題の共有と今後の改革方針について」
「専門演習の学習成果の見える化(ポートフォリオの活用)」
令和4年8月
- ・「初年次教育(スタディスキルズ:SDGs等)の方針と実施にあたっての教材開発に関するワークショップ」
令和4年10月
- ・「学修成果の可視化」
令和4年11月
- ・「次年度のシラバス作成要領の周知とワークショップ」
令和4年12月
- ・「優れたアクティブラーニング型授業の実践事例に関するワークショップ」
「キャリア教育における学外連携PBL授業の開発に向けて」
令和5年2月
- ・「成績評価ガイドラインの適切な理解とルーブリックの活用/令和5年度におけるGPAの活用方針及び指導時の留意点について」
・「授業評価アンケートの分析結果と今後の授業改善について」
令和5年3月

b 実施方法

上記取組みは、FD委員会および教学改革FSD会議、教務本部等との連携を図り実施することを予定している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

前期・後期それぞれでFD研修及び教員の資質の維持向上に係る取組みを実施する予定としている。

また、FD研修は全教員を出席対象としており、研修後の報告書の提出をもって出席確認を行う予定としている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各期末に、担当授業ごと、各教員は授業報告書・改善計画書を学長に提出するほか、シラバス作成に伴いアクティブラーニング実施計画を個々の教員が作成することを予定している。また、FD研修や授業評価アンケートの実施結果、教員相互の授業参観における授業改善への気づき、教学改革会議において推進されている改革の趣旨・内容等を踏まえながら改善計画を立案し、各教員が個々の授業の省察と改善に取り組むことを予定している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

令和4年7月、令和5年1月の前後期1回ずつの実施予定

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員に対しては、授業評価アンケートの結果をフィードバックするとともに、全授業において授業改善計画書の提出を課す予定としている。また、学生に対しては、授業評価アンケートの結果を冊子化し、図書館に配架し公表することも予定している。

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（4）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

国際観光学部国際観光学科は、現代の社会・経済・経営・情報環境の下で求められる「グローバル化が進む産業及び観光関連産業に係るビジネスとマネジメントに関する基礎的能力とスキル」及び「国際コミュニケーションに関する基礎的能力とスキル」を備え、持続可能な観光経営モデルの創出や地域における観光政策・観光振興、グローバル市場を視野に入れた国際ビジネスの展開など、グローバル化が進む産業及び観光関連産業における現代の多様な経営課題の解決に貢献できる人材を育成することを目的とする。

初年度は、大学生としての基本的な学びの態度やアカデミックスキルなどを身につける科目である「成蹊基礎演習」や、様々な社会課題を題材として研究・発表・調査・プレゼンテーション等のスキルを養う「スタディスキルズ」などの初年次科目、幅広い教養を身につけるための教養科目を開講した。また、基礎的な外国語コミュニケーション能力を身につけるための外国語科目も開講し、ネイティブ教員を含む学部専任教員や、英語教育センターの職員が連携しながら、学生の語学学修をきめ細やかにサポートしている。専門科目では、「経営学入門」「ビジネス会計」「国際観光概論」「国際経営総論」等、グローバル産業や観光関連産業に関する基礎的な考え方を身につけることのできる科目を開講。さらに、世界を舞台に活躍する国際・観光分野のトップ層・著名人を招聘する「特別リレー講義」では、日本の観光業界や地域、世界の潮流に対する正しい知識や、国際的な視野を身につける学びを展開する。

また、夏季には3週間の短期海外研修の実施を予定している。異文化コミュニケーションを通じて様々な気づきを得ながら大きく成長できるよう、新型コロナウイルスの感染状況や国際紛争などの国内外の情勢を注視しながら実施についての判断を行うとともに、事前・事後及び滞在中の指導や、危機管理を徹底していく。

なお、各科目の開講にあたっては、学生にとってより分かりやすいシラバスの作成や養成する人材像ごとの履修モデルの作成を行い、教育内容や履修系統を学生に対して適切に示すことで、教育効果の向上を図っている。あわせて、各教員が、学生一人ひとりの学修状況や授業への出席状況、進路希望の状況などを把握・共有し、助言・指導を行う体制を整えている。今後も、教育効果を一層高めることができるよう、教育内容や教育体制の一層の充実を図っていく所存である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年6月末 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和5年6月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・令和6年に同評価機関の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

○大阪成蹊大学ファカルティ・ディベロップメント(FD)委員会規程

平成29年9月14日

制定

改正 平成30年3月29日

(趣旨)

第1条 この規程は、大阪成蹊大学評議会規程（平成15年4月1日）第5条第2項の規定に基づき、大阪成蹊大学（以下「本学」という。）に置くファカルティ・ディベロップメント(FD)委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定める。

(審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) FD活動の基本方針に関すること。
- (2) FD活動の企画及び立案に関すること。
- (3) FD活動の実施及び結果の公表に関すること。
- (4) FD活動に関する情報の収集と提供に関すること。
- (5) その他FDに関連すること。

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- (1) 副学長
- (2) 学部長
- (3) 教務本部長
- (4) 学長が指名する者 若干名

2 前項第4号の委員は、学長が総長の了解を得た上で委嘱する。

(任期)

第4条 前条第1項第4号の委員の任期は、1年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の任期の残余期間とする。

2 前項の委員は、再任することができる。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、学長が総長の了解を得た上で指名した者とする。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

(会議)

第6条 委員会は、委員の過半数の出席により成立する。

2 委員会の議事は、出席議員の過半数により決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の出席)

第7条 委員会は、必要に応じ、委員以外の者を出席させることができる。

(事務)

第8条 委員会の事務は、人事本部学事部において処理する。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の審議を経て学長が別に定める。

附 則

この規程は、平成29年9月14日から施行する。

附 則（平成30年3月29日）

この規程は、平成30年4月1日から施行する。